

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2020 年 8 月 25 日作成 第 1 版

研究課題名	切除可能胃癌に対するロボット支援下胃切除術と腹腔鏡下胃切除術における術後短期成績の比較
研究の対象	2017 年 7 月から 2020 年 8 月までに横浜市立大学附属病院で胃癌に対してロボット支援下胃切除術また従来型腹腔鏡下胃切除術を受けられた方
研究目的 ・方法	当院でのロボット支援下胃切除術と従来型腹腔鏡下胃切除術における安全性を検討します。 術後合併症の発生割合や手術時間、出血量、郭清リンパ節個数、術後在院期間を評することで、ロボット支援下胃切除術の安全性を検討することを目的として行います。
研究期間	西暦 2020 年 10 月 15 日 ~ 西暦 2021 年 8 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の種類	以下の日常診療で実施された項目を本研究に使用します。 1) 患者背景：性別、身長（登録前 1 ヶ月以内の最新データ）、体重（登録前 1 ヶ月以内の最新データ）、既往歴、併存疾患 2) 胃癌に関する情報：腫瘍占拠部位、腫瘍肉眼型、組織型、臨床病期 3) 術前内視鏡的摘除の情報：実施の有無、実施日、病理病期（T 因子）、腫瘍最大径、脈管侵襲 4) 術前治療の情報：レジメン、施行期間、減量中止 5) 自覚症状及び他覚的所見 6) 臨床所見：血圧・脈拍数・呼吸数・体温等バイタルサイン 1) 血液検査 ・ 末梢血算：白血球数、ヘモグロビン、血小板数 ・ 血液生化学：総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、直接ビリルビン、AST（GOT）、ALT（GPT）、BUN、クレアチニン、LDH、ALP、ナトリウム、カリウム、カルシウム、マグネシウム、CRP ・ 腫瘍マーカー：CEA、CA19-9 2) 治療内容 ・ 手術日、手術術式、手術アプローチ方法、リンパ節郭清度、手術時間、出血量、手術執刀医師、リンパ節摘出個数 3) 病理学的所見病理病期 ・ 腫瘍占拠部位、腫瘍最大径、腫瘍肉眼型、組織型、脈管侵襲、リンパ節摘出個数、転移陽性リンパ節個数 4) 有害事象：術中合併症発生割合、術後合併症発生割合

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話でお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

氏名 利野 靖

所属 横浜市立大学附属外科治療学教室

研究事務局

氏名 前澤幸男

所属 横浜市立大学附属外科治療学教室

住所 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

TEL 045-787-2800（病院代表）